

題名：横浜労災病院で褐色細胞腫・パラガングリオーマと診断された患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	褐色細胞腫・パラガングリオーマの発見契機に関する検討 (2024-51)
当院の研究責任者 (所属)	鶴谷 悠也 (内分泌・糖尿病センター)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	褐色細胞腫・パラガングリオーマ（PPGL）は、カテコラミン分泌過剰による疾患であり、高血圧、頭痛、発汗、動悸、便秘、体重減少など多様な症状を呈します。PPGLの一部はこれら諸症状の原因精査の過程で発見されますが、超音波やCTなどといった画像検査で偶発的に発見される症例も多いことが知られています。しかし、稀な疾患であることから、本邦で発見契機や発見時の症状に関して報告した研究は少ないのが現状であり、内分泌疾患を多数診療している当院での解析結果が期待されています。PPGL 患者の発見契機や発見時の症状について明らかにすることにより、潜在的悪性疾患とされる PPGL を早期に発見できるようになり、早期の治療介入によって PPGL 患者の予後の改善に寄与できると考えられます。
研究の方法 (利用する試料・情報)	【研究の対象】 2005 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに当院内分泌・糖尿病センターに入院した患者さんのうち、褐色細胞腫（副腎髄質由来）またはパラガングリオーマ（副腎外由来）と診断された患者さん。 【研究の方法】 この研究は、上記の期間に当院内分泌・糖尿病センターに入院された患者さんの病名、身体データ、血液・尿・画像検査データなどを参照させていただき、解析するものです。そのため、皆様に改めて検査や問診をお願いすることはございません。電子カルテなどから下記のデータなどを収集し、褐色細胞腫・パラガングリオーマの発見契機に関して検討します。下記の情報は当院の研究者以外は利用しません。

	【研究に利用する情報】 ・年齢、性別 ・入院期間、手術情報 ・発見契機、発見時の臨床症状 ・家族歴 ・血液検査所見（アドレナリン、ノルアドレナリン、ドパミン 等）、尿検査所見（尿中メタネフリン、尿中ノルメタネフリン 等）、画像所見(CT、MRI 等) ・摘出検体の病理検査結果（診断名、病理所見）、遺伝子検査結果 【研究実施期間】 2025 年 3 月～2030 年 3 月
利用する試料・情報の 該当期間	2005 年 1 月～2024 年 12 月
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関に提供する予定はありません。
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報 は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際 も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：kenkyu@yokohamah.johas.go.jp 担当者：鶴谷 悠也 (所属：内分泌・糖尿病センター)
備考	